



Nagoya GRAMPUS

名古屋グランパス ワイズメンズ クラブ

NAGOYA YMCA 35-16 DAIKANTYO HIGASIKU NAGOYA 460-0002 JAPAN

国際会長主題 「全ての世界に出て行こう」
 アジア会長主題 「未来を始めよう、いまずぐに」
 西日本区理事主題 「志をもって例会に参加し、学びの機会を持ちましょう」
 中部部長主題 「長所を活かして生き生きと」
 クラブ会長主題 「若い世代にワイズを広めよう」

がんばれ日本 がんばるワイズ

2014年6月号

— <今月の聖句> —

あなたがたの上に聖霊が降りると、あなたがたは力を受ける。

使徒言行録 1章 8節

名古屋グランパスホームページ <http://www5.ocn.ne.jp/~ysmen/>

2014年6月例会他ご案内

◎第一例会

と き：6月10日（火）
 ところ：南山ファミリーYMCA
 時 間：19:00～
 ドライバー：阿部君
 卓 話 「ジョージ ウィリアムスの故郷」
 講 師：吉田一誠氏
 1998年から2011年くらいまで勤めていた会社の業務で英国に滞在しておりました。何かのご縁！があったのでしょうか？私が住んでいましたところはYMCAのファウンダーといわれているジョージウィリアムスの生家のあるところから車で1時間ほど離れたところでした。ロンドンからはるか離れた英国の田舎町で暮らし、見たり、聞いたりする中で感じたあれ、これ
 * ジョージウィリアムスの生家を訪ねてYMCAを想う。
 * グローバル化とは、何故ここに？
 * 働き好きの日本人、余暇好きのイギリス人などなどについてお話をさせていただきたいと思っております。

◎第二例会：6月は開催しません

◎第17回 西日本区大会

と き：6月14日（土）～15日（日）
 ところ：シンフォニア岩国
 山口県岩国市三笠町1丁目1-1
 TEL0827-29-1600

受付開始 11:30～

大会開催 13:00～

◎一泊例会

と き：6月28日（土）～29日（日）
 ところ：多治見修道院研修センター
 TEL0572-22-2038

〒507-0021 多治見市緑ヶ丘38番地

集 合：16時30分

夕 食：19:00～

早朝例会：29日 9:30～

5月例会	例 会 出 席 状 況				B Fポイント		クラブファンド(5月)	
	在席者	14名	第1例会	10名	当 月・切 手		ニコBOXノート	
例会出席者	10名	第2例会	6名	当 月・現 金		感 謝 ファンド		
当月出席率	72%	そ の 他	9名	累 計		累 計		

“TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT”

=強い義務感を持つ。義務はすべての権利を伴う=

第一例会レポート



日時：2014年5月13日（火）
場所：神沢YMCA 19:00～
参加者 坂野、松原、早川、高田、服部、阿部、
下村、吉田+メネ、遠藤、坂本

貴方の知らない被災地の衛生環境

講師：医師、農学博士 森 正旭 氏

吉田一誠

講師の森氏のご経歴は5月ブリテンに載っておりますが、そのご活躍は多方面にわたり、かつ日頃我々にはなじみのない分野のことがほとんどでしたが、お話を伺い、あらためて、目からうろこ・・・そうだったのか！という思いの連続でした。

東日本大震災の被災直後からの被災地におけるさまざまな問題、特に衛生、捜索、治安、検死、海外からの支援、等、について現地で自衛隊組織の中で直接対応された時の状況を時系列で記録された写真や、森様の長年のご経験に基づいたお話は、日頃新聞やTVで私たちが接している情報とは違った視点からのもので、大変感銘を受けました。

今まさに“自衛権・・・”という時の課題が論議されており、自衛隊の役割—軍隊という短絡的な想像の連鎖から戦争のことばかりを考えがちですが、一方で東日本大震災や、これから起こるであろう南海トラフ地震など、大規模な国家的異常事態に組織的に対応できるのは、日本では自衛隊をおいてほかにないことも現実的な事実であることを改めておもいます。



今回は森氏のご経歴をあまり詳しく存じ上げないままにお願いしたため、私どもとしての要望も不確かなままで、かつ時間的な制約もありせっかくの機会を必ずしも十分に生かすことができませんでした。ぜひまた課題を明確にしてお話をお願いする機会があればと考えます。突然のお願いにもかかわらず、快くお引き受けいただき、貴重なお話を聞かせていただいた森様に感謝申し上げます。



第二例会レポート



日時：2014年5月27日（火）
場所：名古屋YMCA 19:00～
出席：坂野、早川、服部、遠藤、荒川、松原
議事

1. 6月10日（火）第一例会予告

ドライバー阿部君
卓話「ジヨージ ウィリアムスの故郷」

卓話講師：吉田一誠氏
場所：南山YMCA 6月4日迄に出欠の連絡→
ドライバーへ 弁当有り

2. 6月14日～6月15日の西日本区大会の申込書到着→5月末クラブ単位で振込予定

参加者：荒川+メネ、早川+メネ、吉田+メネ、
坂野、下村、服部+メネ、10名

3. 1泊例会：6月28日（土）～29日（日）

場所：多治見修道院研修センター
集合：17時 ドライバー：松原次期会長
参加予定 松原2、荒川2、早川2、阿部、坂野、

高田、三井、坂口、遠藤、服部、信田、坂倉加代子、南里道子 計15名
夕食12名 宿泊11名 朝例会10名 ランチ13名

4. 来期の活動方針について

松原次期会長：ファンドその他 例会場所等
6月の第一例会に再度打ち合わせする。

5. その他

- ・東北被災地訪問ツアーの報告会等→5月末ぐらい迄に資料作成する(吉田)(名古屋クラブと合同例会時に報告会を検討)来期に計画
- ・神沢YMCAの備品購入依頼の件(坂本)→YMCAかみさわ幼稚園の鉄棒、机6脚
- ・京都東陵クラブとの合同例会→11月予定1泊例会で打ち合わせ

リートレ支援&ワーク



日時：2014年5月3日(土)～4日(日)
場所：名古屋YMCA御岳・日和田キャンプ場
参加者：荒川、高田、坂野、服部、早川、三井、松原 ゲスト：柴田勝義氏

日和田リートレに参加して

松原 誠

今年のリートレは例年とは違いリーダーたちが忘れかけたキャンプソングを一から見直して学び直すというの大きな主題でした。前日は名古屋Yでリハーサルを行い準備万端とまではいかないまでもぶっつけ本番よりはましだろうと思いました。

5月3日当日はいつも通り楽しくて美味しいバーベキューと相成りましてお腹も十分満たされ、このままログでお風呂でもゆっくり浸かり涼しい高原の一夜を過ごしたい気分でした。

がしかし今年は総主事からスタッフはじめ若いリーダーたちと悪戦苦闘しながらかなり多くのキャンプソングを皆で手さぐりしながらマスターしていくという難題をクリアしていきました。我々グランパスからは三井さんと服部さん、そして私がギター伴奏を担当し3人のコンビがもちろん揃う訳がござ

いませんが、何とか少しはお役にたてたのかなと思う次第です。なんせ歌そのものを知らないし、リーダーたちが知っている曲でも間違っ覚えてはるので、これは今後かなり精進が必要だと感じました。とはいうものの何はともあれ楽しいひと時をリーダーたちと共に過ごせ距離が少し近づき、これからもこのような機会を増やすことも大切だと思います。



服部庄三

5月3日～4日のゴールデンウィーク真最中、今年も御岳・日和田高原キャンプ場(今年よりこの名称になりました)でのリーダートレーニングに応援参加し、大いに若者たちと交流をしてきました。

今回は来年に予定されているYMCA全国リーダー研修会の下見準備もあり、キャンプ場再生に向け、荒川君の現地測量が行なわれました。また例年行っている老朽箇所の修理など、皆汗を流しました。



場内測量中です。貴重なデータが得られました。

恒例の夕食はバーベキュー、大いに食べた後のプログラム兼お楽しみは、キャンプソング。皆が知った曲、知らない曲取り混ぜ、数十曲を、三井君、松原君、服部の3ギター伴奏で、皆で歌い上げました。リーダー経験のない私たちには、8割以上知らない曲でしたが、受け継がれてきた重さを感じ、またこういう機会が持てたらと思います。楽しい時間を持てました。感謝。



幸福の黄色いハンカチ&奇跡の一本松



吉田一誠

奇跡の一本松は越前高田市のみならず三陸の被災地のいわばシンボルとなりました。この一本松から数キロ離れた山裾に鯉のぼりと並んで'幸福の黄色いハンカチ'がはためいています。

陸前高田市は三陸海岸沿いで一番大きい平野で震災当時は二万名を超える人々が住んでおられたそうです。あの未曾有の津波に襲われた時には、これがかえって災いとなり大変多くの方が犠牲となり、町の中心も壊滅的な被害を受けました。現在ではほとんどの部分が更地になっており、そこに立つと災害の過酷さと改めてその広さに驚かされます。

山裾にはためく黄色いハンカチはそこに自宅のあった方が、'復興'を願って立てられました。これをTVの報道で見られた山田洋二監督がご自身で現地に出向かれ、激励を込めて本家!の黄色いハンカチ

を贈られたとのことです。(映画のときの旗は夕張にあり、越前高田の旗はTVドラマ化されたときに使われた物とのこと)

この夏に三陸海岸方面に車で旅行に行きました。現地ではバスなどによる震災ツアーを多く見受けましたが、個人でも'語り部'の方たちに案内をお願いすることができます。陸前高田市で私もお願いしましたが、現場を見ての直接の説明に、大変強い印象を受けました。(ちなみにガイド料は約3時間の案内で3000円)

黄色のハンカチの話はTVなどで放送されているのでご承知の方も多いと思いますが、現地に行って直接見るとハンカチの黄色がひとときわ目に染みしました。

ぜひ皆さんも東北旅行に行つて、語り部の方のお話を聞いてください。これも大きな支援になると思います。



御岳・日和田ワークスケジュール

キャンプ場をよりよくするために私たちの手で出来る限り整備をして、また交流を深めたいと思います。

○ワークキャンプA

日時：2014年6月7日(土)

内容：間伐、薪作り、グリーンチャペル作り

募集：食事担当、ワーク担当

○ワークキャンプB

日時：2014年6月20日(金)~22日(日)

内容：間伐、薪作り、グリーンチャペル作り

募集：食事担当、ワーク担当

○サマーオープンフェスティバル

日時：2014年7月12日(土)~13日(日)

内容：草刈り、間伐、夜のキャンプソングの集い、バーベキュー野外パーティー

※ギターに腕の覚えのある方、昔リーダーで懐かしいキャンプソングを歌いたい等、ぜひご参加を。演奏者を募集とのことです。

その後のワイズ陶芸教室



昨年10月19日に粘土から起こした作品は、同年11月に素焼きから絵付けを行い、5月5日に窯だしとなりました。形状は素焼きで確認できますが、色だけは想像するしかありませんでした。が、1回目の経験で得た釉薬の知識により、ほぼイメージ通りの色合いの出来上がりとなりました。猫の水のみ茶碗（左）とスプーン立（右）の完成です。現在我が家でキッチン



りと役割を果たしております。同僚服部氏の作品は下写真のとおりですが、何の用途に使われるかはご本人に直接お尋ねください。また、新規生徒(?)を募集しておりますので、固くなった頭の中をホグすためにもぜひご参加ください。気楽な仲間とワイワイ談笑しながらの作品造りは楽しいですよ。



駆けつけたメネットと先生と完成作品と記念写真

YMCAだより

遠藤恵美子

YMCAでは、夏休みのプログラムに向けての準備が進んでおります。もちろん、ワイズの皆様がワークに来ていただいている御岳・日和田キャンプ場でのキャンプもあります。昨年の夏休みのキャンプで、はじめて日和田キャンプ場に来たメンバーが「おおきなっロッジ素敵だね〜」「どこまでキャンプ場が続いているの?」「今度来たときは、ツリーハウスをつくりたい!」などなど、日和田キャンプ場に興味津々でした。今年もたくさんの方が日和田キャンプ場に来て、日和田のことが大好きになってくれるよう、私たちも力を注ぎたいと思います。

その他

1. 今月の誕生日

happy birthday

今月は該当者なしですが
世界中の6月生まれの仲間たち
に
congratulation!

2. 例会等出席状況

No.	氏名	5 / 13 第一例会	5 / 27 第二例会	5 / 3 4 日和田ワーク	5 / 5 陶芸教室
1	阿部 一雄	○			
2	荒川 恭次		○	○	○
3	坂口 功祐				
4	佐藤 壽晃				
5	信田伊知郎				
6	下村 明子	○			
7	高田 士嗣	○		○	
8	坂本 清則	○			
9	服部 庄三	○	○	○	○
10	早川 政人	○	○	○	
11	坂野 清治	○	○	○	
12	松原 誠	○	○	○	
13	三井 秀和			○	
14	吉田 一誠	○			
15	遠藤恵美子	○	○	○	
16					
	計	10	6	8	2

※吉田正さんからお便りメールありました。お元気なようです。クラブメンバーのみなさんによろしくとのことでした。

